



窓枠って
いろんな種類が
あるんだね。



▲今年から既存の樹脂サッシの上から新たな樹脂サッシをはめる「樹脂窓力パー工法」を販売。価格を抑えることができるとあって、人気を集めています。



▲ガラス組み込みや、網戸のネット張り加工は手作業。熟練した手つきで、あっという間に取り付けていきます(写真は網戸)。

▶樹脂サッシはアルミサッシの約1000倍もの断熱性があり、自由に形状を作り出せるのが特徴。北海道の新築住宅ではほぼ100%が樹脂サッシとか。



樹脂窓も
いろいろ
あるワン!



▼北海道工場では樹脂製窓や網戸、内窓、複層ガラスを生産。いずれも積雪・寒冷といった北海道特有の気候に対応した商品ばかりです。

あの
“窓を考える会社”
に潜入だワン!



北海道工場は昭和55年に操業を開始し、製造部門、技術部門、販売部門が一体となって高品質な建材商品の供給を進めています。従業員数130人。

北海道の環境に適した さまざまな「窓」を生産。

YKK AP(株)北海道工場

新港南1丁目22-23 ☎64-4134



私の新港 ベスト3!

1. あそびーち石狩
2. ライジングサン
3. サーモンファクトリー

若いころは深夜勤務明けにそのまま海に遊びに行ったことも。ライジングサンは全国的にも有名なイベントですね。

北海道工場は、工場長含め上司と部下のチームワークが良いのも自慢です。わが社は「窓を考える会社」と謳っていますが、「窓」だけに風通しのよい会社だと思っています(笑)。

うれしいのはやっぱり建設中の住宅の窓に当社の製品のラベルが貼ってあるのを見かけたとき。まして、それが自分の担当する「プラマードⅢ」だったときは、ものすごいやりがいを感じます!

北海道工場は、工場長含め上司と部下のチームワークが良いのも自慢です。わが社は「窓を考える会社」と謳っていますが、「窓」だけに風通しのよい会社だと思っています(笑)。

私が担当しているのは樹脂製窓「プラマードⅢ」の生産ライン。「プラマードⅢ」は20年前から販売されている商品で、私は入社後17年間ずっとプラマード一筋で作業しています。ひとくちに「プラマードⅢ」といっても、住宅に合わせてさまざまな形状やスタイルがあり、作る商品は日々異なります。そのため、切断・組み立て・ガラス組み込みなど、一貫して「窓化」を行う生産工程をいかに効率よく段取りし、納期に間に合わせるかが重要で、現在はそうした管理も任されています。



プラマードライン
田中 誠二さん



▶「必要なものは自分たちで作る」という先代社長の思いから、工場をはじめ、プレス機、ローラー、加工治具の一部も自社で制作。写真の600トンの油圧プレス機もその一つで、最大7mの鋼材を曲げることができ、大きさは道内最大級を誇ります。



▲鉄は圧力や熱が加わることで歪みを生じますが、職人さんはそれらも計算して、精度の高い製品を作り上げています。



◀▲「カスベの皮むき機」の試作風景。実際に漁師さんが使うところを映像で確認しながら、カスベの模型を使ってテストを繰り返しました。漁師さんの腰への負担を考えたり、立ったままでも使えるようにと工夫もいろいろ。



◀阿部鋼材では一貫した加工体制で多品種少数量生産を実現。石狩工場では板状の鋼材をプレス機やローラーで必要な形状に曲げ、一つ一つ手作業で溶接し、製品を組み立てています。

▶H鋼も強度を保ったまま自在な形状に。トンネルやダムなどの土留めに使われており、「道内のトンネルの半数近くにうちの製品が入っています」と高橋さん。



「H」の形だからH鋼と言うんだワン!



昭和25年に鋼板加工販売を目的に創業し、昭和59年に曲げ加工部門、溶接組立部門を新港へ移転。鋼材の一貫した加工体制で多様なニーズに応えています。従業員数97人。

板状の鋼材を自在に加工する技術者集団。

阿部鋼材(株)石狩工場

新港西3丁目747-7 ☎73-0840



私の新港ベスト3!

1. 石狩鋼
2. ソフトボール
3. 釣り

ソフトボールは3年ほどチームに入っていました。釣りも好きで、石狩で大物のホッケを釣ったことも!

私自身、こうした異業種交流は初めてで、とても張り切っています。鋼板で培った技術を、ぜひともこのカスベの皮むき機に活用して、実用化に向けて精度を高めていきたいです。

昨年12月、石狩商工会議所青年団体交流会に参加した際、「カスベは皮をむかないと流通業者が買ってくれないが、重労働なので困っているそうだ」という市長の話を聞きました。ならば、その「カスベ(エイ)の皮むき機」をうちで作ってみようということになって、今年5月から取り組み、近々、漁港で実際にカスベを使ってテストする予定です。

わが社は、鋼板の「切断」「曲げ」「溶接組立」という加工工程を一貫して行っている会社です。製品の多くは、お客様の依頼に基づく委託生産。1個から注文を受けていて、トンネルや橋に使われる資材をはじめ、多彩な製品を手がけています。市内では石狩湾新港のチップヤードにうちで製作した部材が使われています。



副工場長 高橋 敏晴さん